

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	ブリティッシュコロンビア大学 2024 年春季
-----	-------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	50,000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	5,000 円	USIM 75GB
現地通学費	15,000 円	(研修先まで 80 分)
教養娯楽費	30,000 円	
被服費	50,000 円	
雑費	0 円	
その他	30,000 円	例:お土産
合計	180,000 円	

渡航準備について
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
とにかくカードのお支払いがおすすめです。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
SIM カードを用意したため、ネットの環境がよかったです。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
思ったより現金が一般的に扱われてなかったなので、現金を最小限に用意したこと。

現地情報
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
実際に犯罪に巻き込まれたことはありません。ホームステイの家族からいろんな情報を収集しましたが、犯罪に関する心配などはなくて大丈夫だと思います。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
ネットへの接続は問題ありませんでした。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)	

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
やはり自分が慣れている空間ではないのが辛かったこともありましたが、ホームステイの家族のライフスタイルいるから得られる新しい視点が多くあったので、おすすめです。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
授業内でのディスカッションが多く設けており、スピーキングの実力の向上はできました。しかし、思ったより授業が長くて観光やネイティブの人々との交流する時間がなかったことが残念でした。
2)課外プログラムについて
ビクトリア日帰りツアーに参加しました。
3)現地での生活に関すること
雨が降る日や曇りの日がほとんどなので、晴れの日にアクティビティをたくさん楽しむことをおすすめします。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
授業中に UBC のキャンパスにいる UBC 学生たちにインタビューする活動を通じて、現地学生と交流した経験を積むことができました。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
ありません。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
雨が降ってもほとんどの人が傘をかさないことです。他にもいろいろありましたが、カナダは多文化社会なので、伝統的な料理よりも世界各国の料理が楽しめるのが印象的でした。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

全体的にとっても満足いくプログラムでした。カナダのバンクーバーはとても小さな都市だったので、1ヶ月間バンクーバーの魅力を楽しむには十分な時間だったと思います。しかし、思ったより曇りや雨の日が多く、バンクーバーで楽しめる自然アクティビティを思う存分楽しめなかったのが残念でした。UBC の ELI も全体的には満足いくもので、授業のほとんどがディスカッションで構成されているため、スピーキング力を向上させる良い機会でした。ただ、中学で習うような基礎的な文法や単語を座学で学ぶ時間が長かったので、途中でやる気を失ってしまうこともありました。また、クラスによってレベル差が大きいので、レベルテストで自分の実力を出し切ることをお勧めします。また、バンクーバーからアメリカのシアトルまでバスで3時間しかかからないので、私は日帰りでアメリカ旅行に行きました。陸路で国境を越えるというのはとても新鮮だったので、北米で楽しめる旅行を全部体験してみるのもいいと思います。1ヶ月間、残念な点もありましたが、今思えば楽しかったことしか思い浮かびません。いろんな大学から集まるので、友達を作るのにも良い機会です。もし迷っているのであれば、一度は短期留学に行くことをおすすめします。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	春季 プリティッシュコロンビア大学語学研修
-----	-----------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約30000 円	
図書費・学用品費	約1000 円	文具
携帯・インターネット費	約11000 円	e-sim
現地通学費	約11000 円	(研修先まで 60 分) マンスリーパスを購入
教養娯楽費	0 円	
被服費	約10000 円	大学スウェットなど
雑費	約20000 円	お土産等
その他	約30000 円	例: ツアーなど
合計	約110000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
カードでの支払いが基本
現金はほとんど必要ない

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
e-sim が最も便利に感じた

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
日本食・薬・エコバッグは持って行ったほうが良い。
お土産などで行きよりも荷物の重量が増える可能性があるので、空港の預け入れ荷物は2つにするべきだった。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
ホストマザーや現地の先生に確認をとった。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
ホームステイ先や学校に Wi-Fi が完備されていたので問題はなかった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類 2) 部屋の形態

☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル ☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
自身のホームステイ先はハウスルールもゆるく非常に快適だった。 ホームステイ先の環境は人それぞれであるためあらかじめホストファミリーとコンタクトを取るべき。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
英語を用いて様々なテーマを多角的な視点で学ぶことができ、フィールドワークなどもあって非常に楽しい研修であった。クラスのほとんどは日本人学生であるため、自分から英語を積極的に使う意識がないと休み時間などを有意義に使うことはできないと感じた。
2)課外プログラムについて
現地の学生によるキャンパスツアーやビクトリアツアーなどが用意されていた。無料のものが多いが有料のものもある。ツアーに参加しなくても自分で観光地を巡ることも可能であるため、無理して参加する必要はないように感じた。
3)現地での生活に関すること
良くも悪くも日本とは違うので、異なるところはしっかりと受け入れて順応していくことが大切だと感じた。大麻が合法であるため、使用している人はあちこちにいるので、危険な場所には一人では近づかず、荷物の管理も徹底したほうが良い。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
日本語を学習している現地学生と交流するクラスが設けられているので積極的に参加したほうが良い。現地の学生はフランクな学生が多いので、自ら進んで話しかける勇気さえあれば友人は作りやすい環境であると思う。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
大学内でサッカーをやっていた学生に声をかけ一緒にサッカーをする、ランチを一緒に食べないかと声をかけたりするなど交流をしに行き、仲良くなった友人とは DM でやり取りをして、放課後にディナーや遊びに行った。基本的に自分から行動しないと現地の友人を作ることは難しいと感じた。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
大学の規模感が日本と比べて規格外であり、自然も豊かだった。 基本的にバスや車の運転は非常に荒く注意したほうがいい。 人種のモザイクと呼ばれるほど様々な人種の人がいるので、多くの文化や価値観に触れることができる。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

私が外国に足を踏み入れたのは今回が初めての経験であったが、初めて訪れる国としてカナダを選んで良かったと思う。そしてプリティッシュコロンビア大学も本当に素晴らしい大学であった。カナダのプリティッシュコロンビア州は、伝統ある街並みと壮大な自然が融合した素晴らしい州であり、大学 1 つの教育機関というよりも 1 つの町のように、全く退屈しない場所だった。今回のプログラムは週に 26 時間の授業が設けられているため、正直辛いと感じる時もあったが英語力向上に非常に役立ったと感じた。また、授業内ではカナダの文化や環境問題などのテーマを、プレゼンやインタビューなど様々な形式で学習するため授業内容に退屈することは少なかった。週末にはカナダの様々な観光地を訪れアクティビティを体験することができたので、多くの貴重な体験を積むこともできた。私は日本人学生だけでなく、現地の学生や先生と積極的に交流することを心がけたため授業外で英語を使用する機会も多く作ることができ、休日には現地の友人と遊び、ご飯に行くこともできた。プログラム上で英語を使用する機会は多く設けられてはいるが、自分自身でより多くの機会を作りに行くことが大事であると感じた。ホームステイ先は本当に人によって様々であるため、事情や状況は異なるが英語を話したり、他国の文化を体験出来る貴重な機会であるため、ホストファミリーとは積極的な交流をするべきであると思う。
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	ブリティッシュコロンビア大学(春季)
-----	--------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	48567 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	12860 円	eSIM で 30GB/30days
現地通学費	14539 円	(研修先まで 1 時間)三月からは定期購入
教養娯楽費	42223 円	スキー、ピクトリアツアー、キャピラノつり橋など
被服費	22914 円	トレーナーなど
雑費	25956 円	友達や家族へのお土産
その他	0 円	例:
合計	167059 円	

渡航準備について
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本で 5 万円分換金 その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
現金は特に硬貨の区別が分かりにくく、何も言わないとチップとして扱われておつりをもらえないことなどあるのでクレジットカードがおすすです。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
学校で紹介された eSIM を契約しました。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
インスタントの味噌汁などの日本食、雨が多いので予備の靴

現地情報
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
ホストファミリーに危ない地域などを聞いて、行く必要があったときは早歩きしてなるべく通らないようにしました。貴重品は常にカバンの中に入れ、リュックではなくショルダーバッグなどで行動していました。財布を取り出すときにはカードなど落とさないように気を付けて扱いました。実際友達がどこかでクレジットカードを落としてマックで 11000 円分使われたことがあり、すぐに気づいたため即利用停止させ、その後は他の友達に助けられながら現金で生活していました。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
電波が悪いと感じたことは一回もなく、家と大学では Wi-Fi がつながっていたため安心して使えました。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	

☒バス ☒トイレ ☒キッチン(☐自炊可 ☐自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

私のホストファミリーはとってもいい家族で良かったです。マザーは午後から夜遅くまで仕事で毎日忙しいにも関わらず洗濯や風呂掃除や食器洗いはすべてやってもらい、食事もおなかいっぱいになるくらい作ってくれてとてもホストファミリーには感謝しています。ルームメイトは私の他に2人いて2人とも日本人だったけどとても優しく仲良く生活していました。クラスの友達はホストファミリーやルームメイトとのめごとなどをよく聞かされていたため恵まれていたなと感じました。正直こればかりは運なのでどうすることもできませんが、クラスの友達もみんないい人ばかりだったのできっと大丈夫だと思います。カナダは治安のいい地域と悪い地域が隣り合わせであり、少し移動すると大麻のきついにおいなどが日常的にあったため、街中を歩くときは気を付けたほうがいいと思います。また、この時期は特に雨季で天気の良い日がほとんどなかったため晴れている日は放課後であっても景色のいいビーチやサイクリングをすることをお勧めします。交通はバスがたくさん走っているので大学から1時間もあればいろいろなところに行けます。現地では基本的に物価が高いので日常的に使うようなシャンプーや歯磨き粉は余裕に持って行ったほうがいいと思います。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

私のクラスは下のほうのクラスであったこともあって、中でも学力の差が生徒によってとても大きく、特に午前のクラスは三人称単数形がよくわかっていない人などがいたり、やる気がない人などいて少し不満でした。正直文法や語彙力に関しては基本的なことしかやらないため成長はしませんでした。しかし上のクラスに比べて外にインタビューしに行ったりプレゼンをしたりなどアクティビティが多かったため、リスニング力とスピーキング力、コミュニケーション力がとても身につきました。平均して週に2回はインタビューする機会があって現地の学生や街中の人々はインタビューを快くひきうけてくれて話を聞くのがとても楽しかったです。午後のクラスはプレゼンや動画を作るためにインタビューをしに行く感じでした。クラスはみんな日本人だったため自分からそういった人に話しかけないと外国人とのコミュニケーションする機会はなかったです。英語力を向上したければ自ら行動することが一番だと思います。

2)課外プログラムについて

UBC 主催のピクトリアツアーやキャンパス内で行われているバスケの試合などがあり、そういった観光はとても楽しかったです。ピクトリアツアーは少し高かったですが、交通の手配などを考えたら楽にいったのでおすすめです。

3)現地での生活に関すること

基本的にバンクーバーはいい街でおしゃれな街並みなどがあっておすすめな場所です。たくさん行きたいところがあったので放課後でも観光しに行ったりしていたため毎日楽しい日々でした。交通手段はバスかスカイトレインですべてコンパスカードで移動できたため、三月になったら定期購入している人などに行き放題でした。ガスタウンも有名な観光名所ですが少し歩くとあるチャイナタウンは特に大麻の匂いが強かったり治安が悪いので気を付けたほうがいいです。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

現地学生との交流は授業内でのインタビューくらいしかなく、あとは金曜日の4時から行われていた日本語を学んでいるUBCの学生と交流するプログラムがあり、それによく参加していました。英語で会話する時間と日本語で会話する時間があり、とても英語を話す勉強になりました。そういった学生は日本に興味のある人ばかりなのでとても話が楽しく、仲良くなった学生もいます。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

ルームメイトとレストランに行ったときに店員さんに話しかけられ、日本の留学生だといって話が盛り上がったことがあります。その人はとても優しく、ジェラートをサービスしてくれました。カナダのレストランなどの店員さんは基本的にフレンドリーで会話することが多かったためそういった場面で交流することが多かったのです。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

カナダのバスはとても揺れ、立っていて手すりを強く捕まっても、座っていても倒れそうになるくらい運転が荒いです。そのためあつてか、日本より高齢者に席を譲るということがとても積極的に行われている印象でした。また、カナダは多国籍の人々が住んでいるため、アジア人差別などといったことは全くなく、みんな優しい人ばかりでした。カナダは特に雑貨屋さんなどのお店が閉まるのがとても早く、18時には閉店しているところが多かったイメージです。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

私はこの研修を通して英語力をのばしたいと思っていたのですが、やはり日本人ばかりのこともあり自ら積極的に行動していかないと外国人と交流する場面が少なく、1 ヶ月という短い期間でもあったため思ったほどは身につきませんでした。しかし、英語を聞き取る力や英語を話す力やコミュニケーション能力などは伸ばすことができたのではないかと思います。文法や語彙力などは日本でも学ぶことができますが、実際外国人とコミュニケーションをとったり観光したりなどは外国に行っていないとできないことなのでそこでしかできないことを積極的にやってみることが大事だなと実感しました。勉強ばかりでなくバンクーバーは観光する場所がたくさんあるので楽しい毎日が過ごせると思います。クラスの友達やルームメイトとは毎日一緒にいたため 1 ヶ月であつてもとても仲良くなり、最後のお別れがとても寂しかったです。それくらい充実したいい経験ができた 1 ヶ月だったなと思います。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	ブリティッシュコロンビア大学
-----	----------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	36379 円	
図書費・学用品費	708 円	
携帯・インターネット費	7980 円	
現地通学費	17323 円	(研修先まで 60 分)
教養娯楽費	53705 円	
被服費	円	
雑費	円	
その他	71144 円	例:お土産
合計	187539 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:日本の空港で5万円分両替した。 その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
デビットカードによる支払いが役に立った。すぐに引き落としされるため、どれくらい使ったのかわかりやすかった。現金はほとんど使わなかったが、カードが上手く反応しなかった時に使ったので、少し用意しておくとういと思う。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
Sim カードをインターネットで購入した。30 日間30ギガのものを購入したが、大学とホストファミリーの家で wifi が使えたため、容量はもう少し少なくても十分だったと思う。(7.5 ギガしか使わなかった。)個人的には、カナダの電話番号がもらえるものがもしもの時に備えて良いと思う。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
ホストファミリーへのお土産、最後に渡す色紙。また、compasscard と呼ばれる、交通系 IC カードのようなものを入れるケースがあると便利だったなと感じた。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
ホストファミリーや大学の先生、CA(UBC の学生)に危険な場所を教えてもらった。ダウンタウンに行く際は、帰りが遅くならないようにすること、バスが通る道が安全であることを確認することを徹底した。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
大学、ホストファミリーの家で wifi を問題なく利用することができた。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)	

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

トイレとお風呂は私たち学生専用だった。(ホストファミリーとは別の部屋のバスルームを利用)そのため、入浴時間の制限も特になかった。滞在先に関するルールは、ホストファミリーによって異なるため、事前にメールして確認するとよいと思う。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

良かった点はグループワークやインタビューの機会が充実していたことである。毎週異なる形式でのプレゼンが課され、その発表のために現地の人にインタビューをした。現地の人と関わってリアルなコミュニケーションの機会を得ることができただけでなく、個人的にはグループワークの難しさと楽しさを学べたことも嬉しかった。また、授業には発音やイントネーション、アクセントの付け方、スピーキングの練習も毎日組み込まれており、新鮮かつ能動的な授業で、毎日とても楽しかった。

良くなかった点は先程述べた通り、参加者がほぼ日本人であるということである。(私のクラスでは20人中19人は日本人だった)それゆえ、日本語に頼ってしまう学生が多く見られた。プログラム全体を見てもずっと英語を使っている人とそうでない人に二極化してしまっていた。そのため、英語を頑張りたいと思っていても、学校や休日は日本語が溢れすぎていて難しかった。

2)課外プログラムについて

毎週インタビューをしに、バンクーバーの色々な場所に出かけた。また、環境問題について考える授業では実際に大学の近場の森や公園をみんなで訪れた。その後は先生のお家にお邪魔し、お茶会もした。本当に自由で活動的な授業が多いなと感じた。

3)現地での生活に関すること

私は、平日は毎日朝6時に起き、16時に授業を終え、19時に夜ご飯、23時に寝るというような生活をしていた。授業が朝9時から始まるため、朝がとても早かった。そのため睡眠不足になり、遅刻・欠席をしてしまう生徒も見られた。研修期間が1ヶ月しかなく、多くの生徒が土日や放課後に観光しに行くため、毎日予定でいっぱいという人が多かった。またプレゼン前は、家に帰って作業をすることもあった。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

CAと呼ばれる、私たちの英語学習をサポートしてくださったUBCの学生と様々なアクティビティで交流した。毎日昼休みにイベントを開催してくださっていた。また、日本語を学習しているUBCの学生と日本語と英語を交えて交流した。そこで友人を作ることができた。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

この研修で英語のスキルもちろん伸びたが、たとえ不完全だったとしても英語で話してみるという能力がとても向上したと感じている。私が印象に残った話の一つにホストマザーがしてくれた話がある。私のホストマザーは中国とメキシコのハーフで、もともとメキシコに住んでいて、結婚を機にバンクーバーに来ることになったという。バンクーバーで働いている今も時々家族に英語の文法を指摘されることがあるというのだ。また同僚のアクセントに癖があっていつもなんて言ってるかわからないとも笑って話していた。私が驚いたことは、仕事という場であっても完璧な英語はそれほど重要ではないということである。完璧に話そうというよりも、頑張って伝えようとする意志が重要だと感じた。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	University of British Columbia
-----	--------------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	40,000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	7,000 円	
現地通学費	13,000 円	(研修先まで 50 分)
教養娯楽費	15,000 円	
被服費	2,500 円	
雑費	10,000 円	お土産等
その他	40,000 円	例:週末にシアトルに旅行をしたため
合計	127,500 円	

渡航準備について
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:空港の両替所 その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
ほとんどの支払いがクレジットカードで行えるので、持っていく現金の額は100CAD 未満でも良かったと思います。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
日本で契約したイエローモバイルの eSIM を使った。たまに繋がらなくなることもあったが、おおむね満足している。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
スリッパ、おしりふき

現地情報
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
ホストファミリーに危険な場所を聞いた。危険な場所とされているチャイナタウンには行かないようにした。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
学校の wifi が何故か接続できなかったの、家にいるとき以外はネットワーク通信をしていたが、それ以外は日本と変わらずに接続できた。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☐ 自炊可 ☐ 自炊不可)	

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

食べ物はどうしても自分に合わないと感じた時には遠慮なく伝えたほうが良いと思う。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

良かった点は、ディスカッションやインタビューを通じて、自発的に英語を話せる機会がとて多く提供されていたことです。良くなかった点は、クラス内の生徒がほとんど日本人で、授業時間以外は日本語での会話になってしまった点だ。英語漬けの環境にいたい人にはあまりお勧めできないが、留学に不安を感じている人にはお勧めできる環境であると感じた。

2)課外プログラムについて

ELI 内の CA(アシスタントの学生)が企画するイベントに参加をした。キャンパスツアーとダウンタウンツアーに参加したが、CA の方たちとも交流でき、観光も行えるのでとても満足度の高いものであった。ただ、早く枠が埋まってしまうので参加したい場合はすぐに申し込む方がよい。

3)現地での生活に関すること

バンクーバーは移民の割合が高く、特に東アジア系の人を多く見かけた。異文化理解という観点でとても興味深く、海外が初めての人も馴染みやすいと思う。また、街が比較的コンパクトで、交通網も発達しているので、留学生にも易しかった。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

金曜の午後に開催されていた、日本語を学んでいる現地学生との交流会に参加した英語の勉強にもなり、現地の友達を作ることにも可能。また、CA ツアーでも交流する機会があり、積極的に関わろうとすれば、交流ができる基盤は整っていたと感じる。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

学校の外では交流を行っていない。主にホストファミリーとその親戚と交流をしていた。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

チップをあげる文化があることが日本とは大きく異なると感じた。日本のように感謝や感動を言葉のみで伝えるのではなく、お金という重みのあるものをあげるということに最初は戸惑ったが、とても印象に残っている。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

明治大学にあるプログラムの中で一番週当たりの授業時間が長いということで申し込みをしたが、そのおかげでとても有意義な時間を過ごせたと思う。週ごとに気候や多様性等テーマが変わるが、その共通したテーマの中で文法の授業やディスカッション等を行ったりするので、とても楽しく学ぶことができた。アドバイスとしては、プログラム前の日本にいる段階で行われるテストの結果によってクラス分けが行われ、上のクラスほど英語を真面目に学ぶ機会が多くなると思われるので、きちんとテストを受けて上のクラスと目指すのが得策だと思います。生活面では、バンクーバーのバスが結構揺れるので酔いやすい人は酔い止めを持っていくべきなのと、カナダはウォシュレットがなくとても不便なので、おしりを拭く用のウェットティッシュを持っていくのがお勧めです。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	春季プリティッシュ・コロンビア大学(カナダ)研修
-----	--------------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約 53,100 円	外食・カフェ代
図書費・学用品費	約 5,000 円	洋書 2 冊
携帯・インターネット費	5,338 円	PhoneBox の 20GB 国際通話プラン
現地通学費	16,381 円	(研修先まで40分)定期代+定期有効までの交通費
教養娯楽費	約 20,000 円	日帰りビクトリア旅行(ブッチャートガーデン入場料含む)
被服費	約 40,000 円	UBC のパーカー、トップス、レギンス、バッグ購入
雑費	約 70,000 円	お土産代
その他	6,684 円	Uber代
その他	25,096 円	シアトル旅行諸費用
合計	約 241,599 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 羽田空港で約 2 万円換金 その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジットカード。VISA だったらタッチ決済がどこでもできるのでおすすめ。AMEX はバンクーバーでは使えないところが多かった。カードは紛失時に備えて 2 枚以上用意しておくべき。現金はほぼ必要ないが紛失など非常時に備えて 1、2 万円なら良いと思う。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
Yellow Mobile(PhoneBox)の 20GB 国際通話プラン(eSIM)を日本から事前に契約。通信に困ることはなく、ステイ先と学校に WiFi があったため 20G は使いきれなかった。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
ビニール袋: ゴミの分別が最初によく分からなかったのでビニール袋にゴミをためていたが便利だった。 大きめのブラバック: 洗濯が週 1 回で、収納も少なかったため、洗濯物をためたり、乾燥機まで運んだりするのが楽になった。 雨具: 雨季で雨が良く降る、天気が変わりやすいので、フード付きの上着、折り畳み傘があると便利。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☐ なし ☒ あり (問題の内容や相談した人等: なし) 特記事項: クレジットカードを紛失した。すぐに止めたため、不正利用はなかった。
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？
渡航してからホストファミリーに危ない場所を聞いた+自分でもインターネットで調べた。行先がそのエリアに近かった場合はバス・電車の降車駅にも注意した。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
学校、ステイ先の WiFi と eSIM は接続もよく不自由なく使えた。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	

☒バス ☒トイレ ☒キッチン(☒自炊可 ☐自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

食事がおいしかったため、慣れてからは不自由なく生活できた。ただステイしている人が4人もいたため、共有スペースのローテーションが大変だった。事前にハウスルール、疑問点を把握しておくで荷物減らすことも可能なため、ホストファミリーが公開されたらコンタクトを取るべき。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

ディスカッションが主なクラスに所属していたため、静寂では授業が進まず、英語を使わなければいけなかったため、英語を話すことに対する抵抗感はかなり軽減されたと思う。教科書に載っていない現地の生きた英語を学ぶことができたのも良かった。ただ、クラスによって授業内容にかなり差があり、私のクラスは現地学生との交流などは授業外でないと難しかった。

2)課外プログラムについて

授業以外で実施される現地学生CA主催のイベントは、現地学生とも同じプログラムにいる学生とも交流できるのでよかった。ピクトリアツアーは日帰りだったが、名所がある程度回れるので自分たちで計画するより

3)現地での生活に関すること

危ないと言われているエリアを避ければ比較的安全に過ごすことはできる。昼間は一人で出歩いても問題ないが、街中には薬物中毒者やホームレスの人が多々いるため、目を合わせない、凝視しないようにすることが大事だと思う。夜遅くに出歩かないのが一番安全だが、必要がある時はなるべく複数人で行動した方がよい。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

春休みという時期も相まって、プログラム自体には日本人と日本からの留学生しかいなかったため、ただ授業に参加しているだけでは現地学生との交流は難しい。私は午前授業の日や休日に実施される現地学生主催の課外イベントに参加して交流した。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

時刻表に沿ってバスが来る日本と違い、一応時刻表は存在するものの、早く到着したらその時点で待っていた乗客だけ乗せて出発してしまうバスに驚いた。そのおかげで予定時間よりかなり早く着くこともあるが、バスが全く来ない日もあった。日本では時刻表を見て家を出ていたが、研修中は用意ができた家を出てきたバスに乗るというスタイルをとることになった。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

実家暮らしだった私が外国で一人、食事以外の部分は自分で賄う必要がある環境に1か月という状況に行く直前というか言う前からとても不安に思っていましたし、実際ホームシックにもなりました。普段は使わない英語に一日中囲まれて生活するので、はじめのころは意識していなくても疲れているということも多くありましたが、慣れてからは、毎日放課後、週末は何をしようか、もうこんな長い期間外国にいる機会はないかもしれないから楽しもうというマインドができ、積極的に行動することができたのではないかと思います。授業でもどんどんクラス全体が積極的に発言するようになっていって、自分も“Jump in”、ディスカッションに積極的に参加できるようになっていたのが感じられた。ホストファミリーともどんどん話したい事が増え、英語を使う機会を沢山得られたため、英語学習に対する意欲をさらに刺激された1か月でした。少々お金は使いすぎた気はしますが、高いから行かないとか歯止めをかけなかったから経験できたこともあると思うので、後悔はしていません。

ただ研修に参加するだけでも、得られるものはあると思いますが、1か月を充実したものにするには、やりたいこと、目標を決めていつからのほうが実現しやすいです！英語を伸ばしたいのなら、日本人同士だからと恥ずかしがらず、ガンガン英語を使った方が、抵抗感もなくなると思います。自分から現地学生との交流の場に足を伸ばすのも有効です！

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	ブリティッシュ・コロンビア大学
-----	-----------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	50,000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	5,500 円	Yellow Mobile 社の eSIM を 20GB 購入
現地通学費	15,000 円	(研修先まで 30 分)
教養娯楽費	50,000 円	
被服費	25,000 円	
雑費	0 円	
その他	20,000 円	例:お土産
合計	165,500 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
 現金の用意方法:空港で3万円分両替しました。1万円分くらいで十分だと思います。
 その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
 ほぼすべての支払いでクレジットカードを使いました。
 行った中ではクレジットカードが使えないお店は1軒もありませんでした。

3) 現地で使用する通信手段(SIMカード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
 Yellow Mobile 社の Phone Box という eSIM を 20GB 購入しました。
 現地の電話番号を利用できるので、土日のアクティビティを予約する際に役立ちました。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
 スリッパ、ウェットティッシュ、除菌スプレー、飴、緑茶、胃腸薬、フード付きのダウンコート、ホストファミリーへのお土産、お好み焼き粉とソース(最終日に振舞いました)
 延長コード…ベットの近くにコンセントがなかったので役立ちました。
 シャンプーリンス…バンテンやダブは現地で買えるので、こだわりのない人は小さいものだけで大丈夫だと思います。
 ラゲッジスケールを持っていけばよかったです。ほとんどの人が水道水を飲むので、ウォーターボトルもあったらよかったです。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり(問題の内容や相談した人等:)
 特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?
 ホストファミリーと、研修先でクラスメイトに聞きました。パスポートは必要な時以外持ち歩かないようにし、財布と家の鍵に100均のスプリングストラップを付けてカバンにつなげていました。
 ダウンタウンでホームレスの人がいても、前を見て通り過ぎれば危害を加えられるようなことはありませんでした。ダウンタウンでは、速足で歩いて隙を見せないのも防犯対策になると思いました。チャイナタウンには絶対に近づかない方がいいです。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
 全く問題なかったです。学校とホームステイ先ではWi-Fiを使えました。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3)共有部分
☐ バス ☐ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
地下1階が留学生のフロアで留学生用のトイレ、シャワー、冷蔵庫があり、1階と2階がホストファミリーのフロアでした。プライベートを保ちつつ、夕食後にはしばらく1階のリビングでホストファミリーと過ごせたので良かったです。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
午前には語彙や文法を中心とした授業でしたが、文法を習うごとにそれを使って話してみるという進め方で、話す機会がとても多かったです。また、UBCの生徒にインタビューするという授業ではとても緊張しましたが、いい経験になりました。午後はペアになって話したり、ゲームをすることも多く楽しかったですが、英語の学習量は午前より少なかったと思いました。上のクラスに行くほど語学力の高い、学習意識の高い子と友達になれるので、クラス分けテストは真面目に受けることをおすすめします。
2)課外プログラムについて
CA(現地学生)主催のダウントウンツアーとピクトリアツアーに参加しました。ピクトリアツアーは少々割高かもしれませんが、自分でフェリーなどを予約する手間を考えると申し込んで良かったです。オプションのブッチャートガーデンは、少ないながらも花が咲いていて景色がきれいだったので行ってよかったと思いました。
3)現地での生活に関すること
ホストファミリーとの会話が一番英語力を伸ばせたのではないかと思います。今日学校で習ったこと、観光に行った感想、食事や生活文化、政治、恋愛観など本当に色々なことを話しました。言葉に詰まってしまっても話を聞いてくれて、拙い質問からも話を広げてくれて有難かったです。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
CAさんによる企画は上述の2つ以外にもたくさんあったので、それらに参加すればもっと交流できたと思います。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
特になし

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
現地の方でアジア系の方も多くいることに驚きました。そのためか街を歩いていて居心地の悪さを感じることはなかったです。バンクーバーは非常に多文化で、イギリス風の建物を見たかと思えばすし屋やラーメン屋があったりと、様々な文化が融合して形作られた街なのかなと思いました。私が行く前に抱いていたカナダのイメージ(アメリカに近いイメージ)とは異なっていました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

私はほとんど海外に行ったことがなく、海外に行って生活するなど自分にできるのだろうかという不安が大きかったです。しかし、1か月の研修を終えて帰ってきた今、私でも海外でやっていけたという自信になりました。1か月で流ちょうに話せるというわけではありませんが、英語を話すことへの抵抗がなくなりましたし、発音に対する意識が変わりました。"Keep talking"と先生もホストファミリーも言っていた通り、帰国後に英語を使わないと会話する力が落ちてしまうと思うので、話す機会を作るようにしようと思います。バンクーバーは比較的治安が良く、現地の方はとても優しいので本研修は初めての留学にもぴったりだと思います。留学に行きたいけど不安だ、迷っているという人がいれば、ぜひ勇気を出して一歩踏み出すこととお勧めします。
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	ブリティッシュ・コロンビア大学
-----	-----------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	42,679 円	外食分
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	5,370 円	実体の SIM カードを購入
現地通学費	13,895 円	(研修先まで 70 分)コンパスカードマンスリーパスを購入
教養娯楽費	63,970 円	主に旅行とスキーの費用。UBC 学生証使えば無料で行けるところもある
被服費	17,238 円	ブックストアでスウェット購入
雑費	0 円	
その他	2,770 円	例:お土産
合計	145,922 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:銀行で十万円分両替しました。
その他用意したもの: ☐ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
キャッシュをたくさん用意しましたが、結局カードの方が使いやすい。
チップなどを考えればカードの方が便利。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
30 日間 25 ギガの電話番号付きの実体 SIM カードを購入しました。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
飛行機用スリッパとカイロは準備して良かったです。
味噌汁などの粉類はあった方がいいかもしれません。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例:研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり(問題の内容や相談した人等:)
特記事項:特に問題はなかったです。

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
事件に巻き込まれることはなかったが、ダウンタウンからバスに乗るときに気をつけた方がいいです。
クラスメイトが危険を感じたところをマップにピン留めしてシェアしてくれました。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
電波が弱いところもありましたが、全体的にスムーズに使えました。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類 2) 部屋の形態

☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル ☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

私のホームステイ先はとても素敵で快適なお家で、ファミリーもみんな親切でした。滞在期間中に何も不愉快なく、ファミリーと一緒に過ごせる時間が毎日の楽しみでした。食生活も思ったより健康的で、栄養バランスが素晴らしかったです。ファミリーと帰国後も連絡を取り合うような親密な関係となりました。アドバイスを言うとしたら、自分のステイ先のファミリーにバンクーバーのおすすめスポットやレストランを聞いた方がいいと思います。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

授業は教科書で文法や語彙を学ぶなど堅苦しい感じではなく、多様性や環境、人権など日常生活に関わった話題を取り上げ、みんなで英語を使ってディスカッションする形でした。教室内だけでなく、UBC の学生にインタビューや博物館参観などのアウトドアの授業もたくさんあって、楽しい授業でした。

2)課外プログラムについて

CAsというUBCの正規学生のグループが開催したキャンパスツアーやダウンタウンツアーはかなりおすすめです。UBCのキャンパスはとても広いので、自力で回るのは少々難しいが、CAたちは場所ごとに紹介してくれて、友達と一緒に回れるのも楽しいです。人数制限がかかっているため、参加したい人は早めに申し込むべきです。ELIのイベントとしてビクトリア旅行もおすすめです。天気がよければすごくいい体験になります。

3)現地での生活に関すること

現地の人は思ったより親切で、街中を歩くとときに声かけられることが多い。バスの運転手さんに「Thank you」を伝える文化があるらしいので、私もそれを真似してやりました。毎日些細なことで幸せを感じています。バンクーバーは雨が多いため、晴れる日に積極的に外出して街をまわることがおすすめです。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

現地の学生とは授業内のインタビューを通して交流しました。インタビューに関しては、インタビュー対象に断られることなく、みんな優しく対応してくれました。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

プログラム以外に交流できる機会があまりなかったが、UBCの学生で日本語を学んでいる方々と交流できる日本語教室があると聞きましたので、できればそちらに参加すれば現地の学生との交流機会も増えるのではないかと思います。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

バンクーバーはフィットネスが非常に発展している町だと感じました。晴れる日はジョギングしたり、ビーチでビーチバレーしたり、犬の散歩をしたりする人が多く、生命力が溢れる街の景色がよく目にします。ジム通っている人も多く、現地の人はスポーツウェアの格好をする人が多い。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

この1ヶ月は私にとってかけがえのない時間でした。英語圏の国に長時間住むのが初めてで、いく前には少々不安でしたが、現地まで行くと、ホストファミリーが優しく、学校の先生もクラスメイトもみんないい人でした。周りの人たちもこの1ヶ月のカナダ生活を高く評価しているため、行けばきっと素晴らしい体験になると信じています。

この1ヶ月は想像以上に良かったため、私は他の留学プログラムにも参加してみようと考え始めました。学生のうちにしかできないことであるからこそ、いろんなことを経験し、後悔しないような学生生活を送りたいと思います。

カナダは比較的治安が良く、物価もアメリカなどよりは低い。何よりカナダは多様性に溢れた国であり、外国人である私たちに対してフレンドリーであるため、最初の留学先にぴったりだと思いました。UBCは世界トップクラスの大学であり、キャンパスが綺麗で、自然豊かなバンクーバーにあるのも魅力的である。なので、このプログラムはとてもおすすめです。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	ブリティッシュ・コロンビア大学
-----	-----------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	40,000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	6,750 円	トリファの eSIM10GB
現地通学費	8,800 円	(研修先まで 60 分) 片道 220 円
教養娯楽費	21,000 円	ピクトリア、スティーブンソンツアー参加費
被服費	16,400 円	
雑費	円	
その他	60,000 円	例:お土産、サイクリング、水族館、交通費など
合計	152,950 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか 現金の用意方法: 羽田空港の両替所で日本円3万円を両替した。 その他用意したものの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください クレジットカードが楽だと思う。現地のコインが欲しかったので、現金も使った。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。 トリファという eSIM のアプリで 10GB 購入した。いつでもギガの追加購入ができるものだったので便利だと思う。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか ホストファミリーとの連絡手段として WhatsAPP というアプリを使うことが多いので日本で事前にダウンロードしておくとういと思う。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等) ☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？ 現地の危険地域情報はホストファミリーや大学の先生に聞いた。防犯対策として、一人行動は避け、夜はあまり遅くならないように気を付けた。犯罪に巻き込まれることはなかった。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 ステイ先、学校には WiFi があり問題なく使用できた。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類 ☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	2) 部屋の形態 ☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分 ☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)	

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等) 食事については、朝食は自分で用意、夜はホストマザーが用意してくれるという形だった。冷蔵庫に入っている食材は基本的に自由に使うことができ、基本的に朝はシリアル、昼はサンドイッチだった。ホストマザーがインド系の方だったので、夜はカレーなどインドのスパイスを使った料理が多かった。帰宅後や夜ご飯の準備中にマザーが学校や放課後での出来事などいろいろな話を聞いてくれたので、その時間が英語を話す練習になった。
--

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。 午前の授業はディスカッションやライティング、文法のプリントなどを行った。ライティングで自分たちが間違えていたところが文法の問題になっていったので、間違えやすい前置詞や接続詞の使い方などを学ぶことができて良かった。また、Quik Talks というあるテーマで 90 秒間止まらずに話し続けるというスピーキングの練習が、楽しかったし、ためになった。ライティングの時に、ほとんど話さない個人作業の時間が長すぎる時があったのが良くなかった。午後の授業は、フィールドワークをしたり、ニュースを作ったりと実践系の授業だった。毎週グループが組まれて作業をする形だったので、クラスの人の仲も深まり、英語での会話が増えて良かった。
2)課外プログラムについて 週末や授業がない金曜日の午後にキャンパスツアーやダウンタウンツアー、ビクトリアツアーなどのツアー、また、卓球やクイズなどのアクティビティも用意されていた。ツアーは、現地の学生の方が案内してくれるものなので、週末どこに行くか迷っていたり、一人で行動するのが不安だったりしたら参加すると良いと思う。自由時間もあるけどある程度ルートが決まっているので、自分の好きなように行動したい人はツアーには参加せず楽しむで良いと思う。昼休みも毎日アクティビティがあり、現地の学生と話せる機会なので積極的に参加してみたい。週末のアクティビティは申し込みが必要で、すぐ埋まってしまうので早めに申し込むべきです。
3)現地での生活に関すること 当たり前のことかもしれないけど、横断歩道を渡るときに車が絶対に止まってくれたり、店員さんが現金での支払いを手伝ってくれたりとバンクーバーの方々とはみなとても親切だなと感じた。ほとんどの場所は治安も良いし、非常に過ごしやすかった。バスや地下鉄に乗るときに、コンパスカードという日本でいうスイカみたいなものが必要なのですが、チャージして使うよりもマンスリーパスを買うほうが確実にお得です。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。 授業内で現地の、日本語を勉強している学生との交流があり、英語でのディスカッションと日本語でのディスカッションを行った。お互いの言語を教えあいつつ、趣味や生きたい場所など簡単な話題で話ができとても楽しかった。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。 学校で毎週金曜日の夕方に Japanese Language Table という、上で述べたアクティビティと同じような日本語を学んでいる学生との交流があって、それに参加した。自分たちの趣味やお互いの国の話を英語でも日本語でもできて楽しかった。また、授業内で友達になった人とご飯を食べに行った。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。 バスの運転手さんやお店の店員さんが、“Hello”や“How are you?” など、話しかけてくれることが多い。 ”

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

本当に楽しい 1 ヶ月でした！私は最初の 1 週間はとても長く感じたけど、2 週目から驚くほどあっという間でした。行きたい場所、食べたいもの、お土産など、ある程度調べてリストアップしてから行くと良いと思います。個人的おすすめはスタンレーパークでのサイクリングです！自然を感じられるし運動にもなるしとても気持ち良いので、晴れの日を狙って行ってみてください。また、大学の近くなどビーチもいくつかあって、とても綺麗なのおすすめです。学校から 1 番近い wrec beach は階段が多くてしんどいので気をつけてください。でもとてもきれいでした！食べ物もプーティンが非常に美味しくて、色々なお店があるのでぜひ食べ比べてみてください。またグランビルアイランドのポットパイもとても美味しいです。学校でもステイ先でも日本人がいる状況だったため、なるべく英語を話すようにしていたけれど、だんだんと日本語が増えてしまったので、そこは反省点です。ジェスチャーを交えながらも良いし、文法が正確でなくても大丈夫だと思うので 1 秒でも英語を話す時間を長くすると、確実に力になると思います！絶対に良い経験になるし、英語に不安があってもみんな協力しつつ乗り越えられると思うので、迷っている方がいたら参加を勧めます！

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	ブリティッシュコロンビア大学
-----	----------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約 5 万 円	外食にかかった費用です。
図書費・学用品費	0 円	教科書購入などはなかったです。
携帯・インターネット費	7980 円	20ギガの SIM カード購入
現地通学費	16673 円	(研修先まで60分) COMPASS カード購入
教養娯楽費	約4万 円	ビクトリアツアー、アイスホッケー観戦、シアトル旅行など
被服費	0 円	
雑費	約 4.5 万 円	お土産
その他	3000 円	ホストファミリーへのお土産
合計	約20万 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本 of 空港で両替しました。
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジットカードで全て支払えるので、現金はいらなかったです。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
SIM カードを購入しました。eSIM の方が切り替えは楽だと思います。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
ほぼ毎日雨が降っていたので、折り畳み傘は必須です。前髪を切るためののはさみを持って行った方がいいです！

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
危険地域情報は友人から聞いていました。乗り換え場所が危険地域だった際は遠回りをして帰宅していました。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
ホームステイ先も、学校にも WiFi があったので便利でした。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類 2) 部屋の形態

☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル ☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等) 自分のホームステイ先はあまりルールがなかったのですが、スリッパをもってきてほしいと頼まれたので、事前に Zoom など顔合わせをして、家のルール(洗濯の回数など)を聞いておくと思います。
--

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
2)課外プログラムについて 週に 1 回、多くて 2 回授業内で、観光地にいったり、美術館にいったりしました。さらに UBC 内で現地の学生にインタビューを行いました。
3)現地での生活に関すること ほぼ毎日雨が降っていました。雨の日はバスが遅れることや、満員で乗れないことがあるので注意が必要です。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。 授業内で、日本語を学んでいる UBC の学生との交流する機会がありました。また、UBC の学生にインタビューを週に 1 回行いました。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。 チップ文化が特に印象的でした。他には、ホストファミリーがカトリックの方だったので、ご飯を食べる前にお祈りをしていたのが印象的でした。(強制はない)

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

平日に夕方まで授業があり、課題をしたり、ホストファミリーと一緒に映画を見たり、友達とお出かけして、次の日に朝 6 時起きという毎日の繰り返しだったので、思っていた以上にハードスケジュールでした。それでも、新しいことの毎日で 1 か月とても充実していて楽しかったです。クラスメートも同じ意欲を持った子たちが集まっているので、授業が活気であふれていてとても楽しかったです。授業でも、ホームステイ先でも毎日英語を話していたら、英語を話すことに対する抵抗がなくなりました。英語力の向上だけでなく、苦手なことに挑戦する力や、新しい環境、違う文化、価値観を受け入れる柔軟性を養うことができたと思います。
--